

ESD通信 No. 31

平成31年1月4日発行

— ふるさとを愛し未来を拓く子の育成をめざして —

新居浜市一宮町一丁目5番1号 学校教育課 ☎(0897)65-1301

『新居浜版SDGs』を活用して(6月15日) 浮島小学校



浮島小学校は、ESDのテーマを『共に生きる』として、環境学習・防災学習・人権学習の3つのことを中心に、全校で計画的にSDGsの活動に取り組んでいます。



世界の現状に学び



自分事として考える



SDGs コーナー

浮島小学校6年生がSDGsについて学習しました。この日は、目標の中の一つ「質の高い教育をみんなに」をテーマとして、学校司書の先生から3冊の本(『みんなのチャンス』『ランドセルは海を越えて』『ぼくたちはなぜ学校に行くのか』)を紹介してもらいました。みんな集中して、先生の話に耳を傾けていました。世界には、様々な理由から学校に行けない子どもたちが5900万人もいます。そのような現状を学び、自分たちにできることは何かを考えました。まずは、世界や日本のいろいろなことを知ることが大切です。そして、自分でできることの第一歩として、自分の周りのものを大切にすることから始めてみることにしました。SDGsについては、図書館にコーナーを作っています。ここには、SDGsに関する紹介したい本やみんなが考えたSDGs達成に向けた身近な行動が書かれた短冊が掲示されています。

ドリームツリー点灯式(12月9日) 金栄小学校



昔と今をつなぎ
未来を拓く
モニュメント

金栄小学校の記念樹メタセコイアを電飾で彩る「ドリームツリー」点灯式は、今年で32回目を数えました。1953年の開校記念に植えられたメタセコイアは高さ約25mに成長しました。

今年も多くの方のご協力のおかげで、素敵なツリーを完成させることができました。デザインは子どもたちが考えたものを採用しています。点灯式では、南中学校吹奏楽部の演奏や豚汁のふるまいが行われ、大いににぎわいました。

次の時代への希望を感じさせる平成最後のドリームツリーイルミネーションは、2019年1月5日まで、毎日17:30~22:00の間点灯し、見る人の心を癒しました。



愛ある給食いただきま〜す（12月12日）金子小学校



盛り付けも丁寧です

カメラやマイクで緊張！

完成！『美人ハンバーグ』給食

金子小学校5年生が試行錯誤しながら、伊予美人（里芋）を使った給食メニューを完成させていく様子があいテレビで放送されました。完成したのはサトイモ・伊予美人がごろごろ入った鶏ハンバーグ。「あん」にも伊予美人のみじん切りがたっぷり入っています。みんなで考えた給食をおいしくいただきました。地産地消（地元で生産されたものを地元で消費する）の大切さを感じるとともに、地域の愛情のこもった食材を見つめ直すよい機会になりました。

「都市鉱山から作る！ みんなのメダルプロジェクト」

公開授業 in 新居浜市（12月13日）角野小学校



＜廣瀬夫妻のお話＞

＜環境省からの説明＞

＜ミライトワ & ソメイティ登場＞

角野小学校は、環境省及び東京2020大会組織委員会の講師に加え、松山市在住で、リオデジャネイロ2016パラリンピックの柔道競技に出場し、東京2020パラリンピックを目指す廣瀬悠さん、順子さん夫妻をお迎えし、出前授業を行いました。不要になり、家庭で眠ったままになっている携帯電話やゲーム機、ドライヤーなどの「小型家電」に含まれる「金」「銀」「銅」を集めて、オリンピック・パラリンピックのメダルを作るというプロジェクトの説明を聞きました。授業を通して子どもたちは、本大会をより身近なものとして感じるとともに、「3R」による持続可能な社会の実現に向けた取組についての意識を高めることができました。東京2020マスコットキャラクターの「ミライトワ」と「ソメイティ」も登場し、有意義な時間を過ごすことができました。

【参加した5年生の感想です】

○ 東京オリンピック・パラリンピックの「メダルプロジェクト」の話を聞いて、ケータイの中に金や銀、銅が入っているのを初めて知りました。これからは、いらなくなった物があればリサイクルをして、東京オリンピック・パラリンピックに役立つことをしていきたいです。



＜オリンピックを通じて循環型社会の定着を！＞